

事業番号

論点等説明シート

事業名

東日本大震災に係る復旧・復興工事安全衛生確保支援事業

予算の状況
(単位:百万円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
予算額(補正後)	-	228	301	252	
執行額	-	146	268		
執行率	-	64.0%	89.0%		
総事業費(執行ベース)	-	146	268		

事業についての論点等

(事業の概要)

東日本大震災に係る復旧工事について、異業種からの新規参入する労働者の増加、大量の工事が隣接したエリアで輻輳して行われることが想定されることから、労働災害の発生が危惧される。このため、下記に記載する事業を実施することで、労働災害防止対策の徹底を図り、もって円滑な復旧工事の推進に寄与する。

- 安全衛生専門家が、
 - 復旧工事現場を巡回し、より安全な作業方法等について助言を行う。
 - 安全な作業計画の作成等、安全衛生に関する各種助言を行う。
 - 建設工事に不慣れな未熟練労働者に対する安全衛生教育を充実させるための支援を行う。
- 安全衛生に関する諸問題に対応する窓口となり、安全衛生専門家の活動の起点となるプラットフォームを設置する。

(論点)

- 執行率は低いにもかかわらず成果目標は達成していたり目標を大幅に上回る実績を上げているなど、目標設定に当たっての指標や水準が適切でないのではないか。
- 被災3県ごとの復旧・復興工事の状況に合わせた事業内容となっているか、検証を行うべきではないか。
- 安全衛生巡回指導については、指導を行った事業場や現場と行っていないところの事故発生率を把握して比較するなど、効果の検証をすべきではないか。
- 安全衛生巡回指導、安全衛生相談、安全衛生教育支援の事業ごとに、支援本部の経費も含め、それぞれ費用・コスト分析を行い、本事業の見直しを行うべきではないか。